

～今、業界で注目される“ワンテーマ”にスポットを当て、その動向をコンパクトにまとめたショートレポートのご案内～

KOHKEN “SHORT RESEARCH” REPORT

<調査タイトル>

ワークプレイスセキュリティにおけるクラウド利活用の実態調査 <システム・サービス市場分析編>【2024年版】

オフィス・オフィスビルのスマート/DX化の実現に向けた“プラットフォーム”としての活用が期待される
クラウド型セキュリティシステムの導入・活用状況の最新トレンドについて徹底調査！！

<2024年11月発刊> ※発刊済み

“ワークプレイスセキュリティ”をテーマにクラウドサービスの利活用状況を徹底調査

様々なシーン・用途でクラウド型サービスの利活用が広がるワークプレイスにおいて クラウド型セキュリティの**市場性**や**将来展望**を徹底調査！

< 調査背景・目的 >

- ビジネスシーンにおけるクラウド技術の利用について、近年ではビジネスシーンにおけるスマートフォン・タブレットの利用が浸透したことによってクラウドサービス・アプリケーションがより身近なものとなり、様々なシーン・用途においてクラウドサービスの利用が進んでいます。
- オフィスビル・オフィスといったワークプレイスにおけるクラウド技術の活用状況をみると、従業員の勤怠管理や所在管理、来訪者受付や会議室予約など、様々な業務の管理・運用をスマートフォン・タブレットを用いたクラウドアプリケーション上で遂行しようとする動きが広がっています。また、業務管理・運用以外の側面では、従業員の在席状況に応じて照明や空質・温度を自動調整するといった、設備機器との情報連携による自動調節システムの導入もみられるなど、ワークプレイスの快適性・運用効率性・環境性といった“空間価値”の向上に寄与するシステムの導入事例もみられるようになっていきます。
- こうした取り組みは、コロナ禍を契機に過熱した「ニューノーマル」という考え方や、近年世界的に取り組みが進むSDGsの考え方が広まったことで一層注目を集めており、新しい「ワークプレイスの在り方」「空間価値の構築・提供」の実現に寄与する技術としてクラウド技術への注目が高まっています。
- ワークプレイスセキュリティの観点でみると、これまでもクラウドによるセキュリティシステムの管理・運用について議論がなされてきました。しかし、ビジネスシーン・ユーザーにおいてクラウドサービスが浸透する以前は、クラウド上でセキュリティ情報を管理することへの不安感やランニングコストの観点などから導入拡大には至らなかった経緯があります。
- しかし、近年ビジネスシーンにおけるクラウドサービス、スマートフォン・タブレットの利用が浸透してきたことで、ワークプレイス運営において入退室管理システムをクラウド化し、スマートフォンやタブレット上で管理・運用しようとする動きが広がりつつあります。また、入退室管理システムといったセキュリティシステムで取得した各種データを、勤怠管理や会議室予約、設備機器の最適制御などの他システム・サービスと情報連携する取り組みも広がっており、セキュリティシステムを情報収集のキーデバイスとして様々な設備機器・システムと情報連携することによる新たなサービス・付加価値提案が期待されています。
- このように、これまでクラウド技術の導入が進んでいなかったセキュリティ領域における導入拡大が予想されると同時に、収集した情報を他の設備・システムと連携することによる新たな空間価値の提供が進むことが期待されています。将来的には、クラウド型セキュリティシステムを「オフィスDX」、「スマートオフィス」を実現するための“プラットフォーム”として活用するなど、セキュリティ用途に留まらない活用が進むことが期待されています。
- 本調査では、ワークプレイスセキュリティのうち「入退室管理システム」「映像監視システム」の二つの市場を対象とし、クラウド型システム・サービス市場の市場規模や普及状況の現状把握・市場性・将来性の分析を行うと同時に、取得情報の活用状況・他システムとの連携状況を明らかにすることで、クラウド型セキュリティシステムをキーとした新しいサービス・付加価値提案の可能性について分析を行いました。

①クラウド型入退室管理・映像監視市場について市場動向を分析！

入退室管理市場

- ✓ 非接触IC
- ✓ 生体認証
- ✓ スマートロック

映像監視市場

- ✓ クラウド録画

＜主な調査内容＞

- 導入状況の分析：市場規模の推定
- 市場将来性の分析：中長期市場の将来予測
- ビジネス動向の分析：ビジネススキーム分析、
参入企業動向の分析、など

②他システム・サービスとの連携状況やデータ収集・利活用への 取り組み状況など、クラウド型セキュリティ市場において注目されるトピックスをリサーチ

注目リサーチトピックス

他システム・サービス
との連携

データ収集・活用

テナント・ビル間の
連携

多拠点・他拠点
連携

サービス提供スキーム
ビジネスモデル

イニシャル・ランニング
コスト

アライアンス動向

etc.

【本書のポイント】

オフィス・ビルのスマート化/DX化のキーデバイス・プラットフォームとしての活用が期待されるクラウド型セキュリティシステムについて、現状の普及状況・市場性・将来性の分析を行うと同時に、他システム・サービスとの連携状況や取得情報の活用方法を明らかにすることで、クラウド型セキュリティシステムを“キー”とした新しいサービス・付加価値提案の可能性について徹底分析！

I 市場総括分析編

1. クラウド型セキュリティシステム・サービス市場全体俯瞰
2. クラウド型セキュリティシステム・サービス市場規模推移・将来予測
3. ビジネススキーム・ビジネスモデルの分析
4. 企業参入の状況・業界構造分析
5. オフィスビル・オフィステナントにおけるクラウド型セキュリティ導入状況の比較分析
6. システム・サービス利用価格の動向
7. 他設備・システム・サービスとの連携・拡張利用の状況
8. クラウド型セキュリティシステム・サービスによるデータ収集・収集データ利活用の状況
9. 注目・期待される新ビジネス・サービス
10. 主要メーカー・ベンダーにおける今後の事業方向性
11. ワークプレイスセキュリティにおけるクラウド利活用の今後の方向性、将来展望

II クラウド型セキュリティシステム・サービス市場分析編

<調査対象市場>

入退室管理市場

・クラウド型アクセスコントロールシステム・サービス

映像監視市場

・クラウド型映像監視システム・サービス

<調査項目>

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 01.調査市場の概要 | 10.データ収集・活用状況の分析 |
| 02.市場動向の分析 | 11.アライアンスの動向 |
| 03.参入企業動向の分析 | 12.新製品・サービス・技術の動向 |
| 04.需要分野別にみた導入状況の分析 | 13.今後の市場方向性・将来展望 |
| 05.ビジネスモデルの分析 | |
| 06.サービス価格の動向 | |
| 07.システム・サービス連携の状況 | |
| 08.ビル・テナント間連携の状況 | |
| 09.多拠点連携の状況 | |

【本件のお問い合わせ/お申込みについて】

株式会社工業市場研究所 第二事業本部 大阪事業所 企画担当 行

TEL：06-6533-0633 FAX：06-6533-0631

MAIL：y-toyodome@kohken-net.co.jp

レポートタイトル

ワークプレイスセキュリティにおけるクラウド利活用の実態調査＜システム・サービス市場分析編＞【2024年版】

商品形態	本体価格：1部	お申込み
データ版	90,000円+税	

- ・ 購入のお申込みについては、お申込み欄に「○」をご記入ください。本紙をお申込書としてご利用いただけます。
- ・ お申込みの際は下記必要事項をご記入の上、上記連絡先まで電話・FAX・メールのいずれかにてお問合せください。
- ・ 商品形態につきましては、PDFデータ（CD-ROM納品）によるご納品となります。
- ・ そのほか、ご不明な点につきましては、上記連絡先までお問い合わせください。

貴社名	
御部署名	
御担当者 氏名	
御住所	
御連絡先	電話番号：
	メールアドレス：

【個人情報の取り扱いについて】

（株）工業市場研究所では、個人情報保護に努めております。ご記入頂きました個人情報、弊社が責任持って管理するとともに、本レポートに関する確認・ご連絡にのみ利用させていただきます。個人情報に関するお問合せ（情報の開示、訂正、削除、利用停止）に関しましては、下記の個人情報お問合せ窓口までご連絡ください。また、個人情報の取り扱いに関する詳しい内容は下記ウェブサイトにてご確認ください。尚、お申込みを頂いた事を以て、上記「個人情報の取り扱いについて」にご同意頂いた事とさせていただきます。



■個人情報お問合せ窓口：株式会社工業市場研究所
〒105-0003 東京都港区西新橋3-6-10 マストライ7西新橋ビル

第二事業本部 担当：美濃部

TEL：03-6459-0265 FAX 03-5408-1684

<<http://www.kohken-net.co.jp/privacy>>